

東車 アラート

強制転勤が招いた歪みをただし 安心して働ける職場をつくり出そう！

3. 休日出勤と技術継承の危機

- 「人が足りない」と言われているが、客室担当を6人出せば足りなくなるのは当たり前だ。新規養成も始まり、さらに大変なことになる。
- 去年は年休入らず、今年はコロナ。これから年休消化が始まると事態はさらに悪化する。何でも乗務できるベテランの転勤が追い打ちとなる。
- 車掌は職人だ。10年でも足りない。先輩の話を聞けば、まだまだ精進が必要だ。グリーン車や寝台特急乗務も、異常時対応も、経験が重要！
- わからない人が新人や転入者を教えることになるお互いに不幸だ。何かあっても会社は責任を取らず、教えた人の責任とされてしまう。
- 技術軽視の背景は、組制度を廃止して全員同じ交番で回したいのでは。
- 旅客一斉で「窓閉め放送依頼」が流されているが、雨が降っていても指令に言われないと窓も閉められないのか？技術力以前の問題だ！
- 訓練会でメッセージを発表させ、発表者にはその場でお菓子がプレゼントされた。一方、客室担当行路の先生のフォローが無くなった。手弁当の割に責任だけが重い。歴代の現場長はその点を配慮していたのに…

4. 心の拠り所を集まって、みんなで闘おう！

- 経営幹部は不祥事を起こしても処分保留。私たちはまじめに仕事をして強制転勤。経営幹部に人生を決められたくない！
- 記者会見を開いて社会に発信した仲間もいる。諦めてはいけない！
- 乗務員基地再編もあるが、『変革2027』の大きな施策が控えている。分断、小出し作戦にダマされず、全員で団結して未来を切り開こう！
- 集まって、対面で話をすると落ち着く。職場集会に参加してよかった。
- 労働組合に加入していない人の中でも困っている人はたくさんいる。労働組合が心の拠り所となり、安心して働ける職場をつくりだそう！